

粗大ごみ処理有料化は

ゼロへ

ゼロ

平成18年度、三豊市市民部に新しく「ごみ0作戦推進室」が設置されました。

三豊市誕生とともに始まった指定ごみ袋による可燃ごみ処理の有料化は定着しつつありますが、まだ、旧町ごとにごみの分別や収集のシステムに違いがあるなど、三豊市のごみ問題には課題が残されています。また、7月にはいよいよ粗大ごみ処理の有料化が始まります。

そこで、「ごみ0作戦推進室」の目的や三豊市のごみ問題について、市長が担当の市民部・小野部長と話し合いました。

スタートしたごみ0作戦推進室

市長

4月から市民部に「ごみ0作戦推進室」を設置しました。

三豊市としてのごみに対する統一した理念を作ってほしいと考えての設置ですが…。

部長

理念を作り、行動を始めたいと思います。

「ごみ0作戦推進室」では、環境衛生課と力を合わせ、4つの具体的な目標を立てています。

第1に旧町ごとのごみの分別や収集方法を統一すること。第2に指定ごみ袋・粗大ごみ

処理有料化の市民の皆さんへの啓発。第3にごみの減量化・資源化の推進。第4がごみ問題そのものに対する啓発活動です。

市長

分別や収集方法が旧町ごとにはらばらということですが、市民の皆さんからの苦情はありませんか？

部長

現在は旧町の方式を引き継いでいますので、同じ町にずっとお住まいの方からは特に苦情は聞かれないのですが、市内で転居された方からは「同じ市なのになんで違うのか」という

意見をよくお聞きします。

ごみの分別というのはいちばんの基本ですから、早急に統一をはかりたいと思います。

市長

ごみ袋についてはどうですか？

部長

大きさが大(30)と小(20)の2種類ありますが、家族の人数などによって、もう少し大きいほうがいいという人もいますし、小さいほうがいいという人もいます。

これはもう少し市民の皆さんのご意見を聞いて、今後、種類を増やすことも検討します。

ごみ処理に年間約 **4億5千万円** が投入されています!!

始まる粗大ごみ有料化

市長

粗大ごみの有料化が7月から始まります。合併前は無料の町もありましたから、市民の皆さんの抵抗感は大きいと思いますが。

部長

はい。これは合併前の協議でも、各町の担当でぎりぎりまで話し合った問題です。

市長

そうですね。それをあえて有料化したのはなぜですか？

部長

7町それぞれの方式を参考に、持続可能な一歩先に進んだ方式に統一したいと考えたのです。

市長

有料で処理するほうが先進的ということですか？



市長と語る小野市民部長

部長

そうですね。

税金を使って無料で粗大ごみを処理したのでは、たくさん出す人も出さない人も同じだけ費用を負担することになり、不公平が生じます。有料化すれば多く出す人は多く負担し、あまり出さない人は負担が少なくてすみます。

つまり、ごみの減量に努力すればそれだけ報われる、ごみを減らそう、ものを大事に使おうという高い意識を市民の皆さんが持つてくれます。これが先進的という理由です。

市長

なるほど。

しかし、粗大ごみの搬入場所がこの広い三豊市のなかで1カ所だけというのは、市民の皆さんにとって不便ではありませんか？

部長

そうですね。搬入場所は詫間町ですから、確かに遠くにお住まいの方や高齢者の方は大変だと思っています。

しかし、保管場所、処理能力、人件費等コストなどのあらゆる面で考慮した結果です。詫間町にある(有)詫間清掃(4ページ参照)にお願いすることになりましたので、まず市民の皆さんのご理解をお願いしたいと思います。

市長

三豊市方式循環型社会の実現へ

残りの2つの柱、これが大事だと思うのですが、ごみの減量化・資源化とごみに対する考え方の啓発活動についてはどうですか？

市長

三豊市方式循環型社会の実現へ

三豊市方式循環型社会の実現へ

三豊市方式循環型社会の実現へ

三豊市方式循環型社会の実現へ

市長

三豊市方式循環型社会の実現へ

部長

ごみの減量化、資源化については「ごみ0作戦推進室」で、これから手段・方法を検討していきます。しかし、これを実現するためには、市民の皆さんのごみに対する意識の改革なしにはありえないと思います。

なにしろ、三豊市で年間約4億5千万円のお金のごみ処理にかかっているのですから。

市長

4億5千万円のお金のごみに消えているわけですね。これを減らすことがいざばんの行財政改革になるかもしれませんね。

市長

これは私の考えですが、私はそもそも「ごみ」というものは存在しないと思っています。いらなくなったものを捨てて燃やしてしまえばただの「ごみ」ですが、再資源として利用すれば「ごみ」はごみではなく、すべて「資源」となります。

部長

江戸時代は、し尿までもが資源として売買される、ごみのない完全なリサイクル社会でした。現代社会では江戸時代のようなわけにはいきませんが、三豊市独自の循環型社会の構築を目指してほしいと思います。

市長

はい。粗大ごみ有料化で三豊市のごみ問題解決への第一歩を踏み出しました。今後「ごみ0作戦推進室」では、さまざまな情報を収集し、三豊市に最も適した「ごみ0作戦」を展開していきます。

市長

市民の皆様には、広報紙などを通じて情報をお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。

市長

市民の皆様には、広報紙などを通じて情報をお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。

市長

市民の皆様には、広報紙などを通じて情報をお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。

市長

市民の皆様には、広報紙などを通じて情報をお知らせしていきますので、ご協力をお願いします。